

整理番号:EP0124

発送番号:356784 発送日:平成17年10月 3日

1

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2002-076424
起案日	平成17年 9月21日
特許庁審査官	金田 孝之 3144 5V00
特許出願人代理人	細田 益稔 様
適用条文	第29条第2項、第36条、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

### 理 由

1. この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内において頒布された下記の刊行物1-4に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。
3. この出願は、明細書及び図面の記載が下記(1)-(12)の点で、特許法第36条第4項及び第6項に規定する要件を満たしていない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

#### [理由1]

請求項1に記載される発明と請求項2-13に記載される各発明に共通する課題は、色変換テーブルによる平滑化の程度を評価することであるが、この課題は、本願出願前に解決されており(例えば、引用文献1等参照)、本願出願時未解決の課題ではないから、各発明は特許法第37条第1号の関係を満たさない。

また、上記各発明に共通する解決しようとする課題に対応した発明特定事項である平滑化程度評価関数は、文献を示すまでもなく本願出願前に周知の技術であるから、解決しようとする課題に対応した新規な発明特定事項である主要部が存在せず、上記各発明は、特許法第37条第2号の関係を満たさない。

さらに、上記各発明は、特許法第37条第3号、第4号、第5号に規定する他のいずれの関係も満たさない。

BEST AVAILABLE COPY

整理番号: EP0124

発送番号: 356784

発送日: 平成17年10月 3日

2

なお、この出願は特許法第37条の規定に違反しているが、請求項1、14-16以外の請求項に係る発明についても、格別の負担なく審査することができたので、新規性、進歩性等の要件についての審査を行った。

[理由2]

・請求項1-16

引用文献1-4

(備考) 引用文献1 (段落20-24参照)、引用文献2 (第8頁第7行-第9頁第18行参照)、引用文献3 (段落20-37参照)、又は、引用文献4 (第4頁左上欄第7行-第8頁左上欄第8行参照) には、それぞれ、色補正テーブルによる色変換後の格子点データにおける平滑化の程度を評価するための関数を用いて色補正テーブルを求めて、求められた色補正テーブルを用いてカラーマッチングを行う発明が記載されている。

[理由3]

(1) 請求項1の記載は不明確である。また、発明の詳細な説明の記載との対応も不明である。

- ・平滑化がどの様にして行われるかが分からない。
- ・平滑化の程度とは、どの様な指標であるかが分からない。また、どの様にして平滑化の程度が評価されるかも分からない。
- ・平滑化された色補正テーブルは、平滑化程度評価関数がどの様に用いられて、作成されるのかが不明である。
- ・所望の画像入力データとは、どの様なデータであるかが分からない。また、当該記載は、発明の詳細な説明のどの記載に基づくものであるかも分からない。
- ・平滑化された色変換テーブルと所望の画像入力データが、どの様に用いられてカラーチャートを出力するかが不明である。

(2) 請求項2には、「所望の画像入力データが、画像出力装置の色再現特性に依存するデバイス値を有する」との記載がある。

当該技術分野において、請求項2に記載の所望の画像入力データは、画像入力装置の装置依存色空間で表色されるものである。また、画像出力装置の色再現特性に依存するデバイス値は、画像出力装置の装置依存色空間で表色されるものである。

したがって、請求項2に係る発明の記載は入出力の関係が不明確である。

(3) 請求項5に記載のCIECAM97Sによって測色値がどの様に表されるかが不明である。また、CIECAM97Sである測色値からどの様にしてプロフィールを生成するかが不明である。

(4) 請求項6に係る発明は記載が不明確である。また、発明の詳細な説明との対応も不明である。

- ・色補正テーブルとインク量ベクトルとが、どの様に関連するかが不明である。
- ・色補正テーブルによる変換前後のインク量ベクトルとの記載から、変換前後で異なる色空間のインク量ベクトルが想定される。してみると、互いに異なる色空間におけるインク量ベクトルのねじれ量が、どの様にして求められるかが不明である。
- ・ねじれ量からどの様にして評価関数が得られるかが不明である。
- ・請求項6に係る発明の評価関数が、平滑化の程度とどの様に関連するかが分からない。

(5) 請求項7に係る発明は記載が不明確である。また、発明の詳細な説明との対応も不明である。

- ・仮想CMYとは、どの様な色空間であるかが不明である。
- ・何と何のねじれ量を評価するかが不明である。
- ・仮想CMYにおけるねじれ量からどの様にして評価関数を求めるかが不明である。
- ・請求項7に係る発明の評価関数が、平滑化の程度とどの様に関連するかが分からない。

(6) 請求項8に係る発明は記載が不明確である。また、発明の詳細な説明との対応も不明である。

- ・前記3次元化された仮想CMY空間との記載は、3次元化された前記仮想CMY空間の誤記ではないか？また、請求項8は、請求項1-7の引用形式請求項であるが、各請求項には、インク量空間に関する記載及び仮想CMY空間に関する記載がない。
- ・インク量空間及び仮想CMY空間と、色補正テーブルによる色変換に用いる色空間とが、どの様に対応するかが分からない。
- ・ねじれの補正をどの様に行うかが分からない。
- ・次元圧縮とは、どの様な技術であるかが分からない。
- ・請求項8の記載からは、次元圧縮前後の空間の連続性を保持しつつねじれ補正をどの様にして達成できるかが分からない。

(7) 請求項9に記載の目的のインク量からの離れ程度からどの様にして評価関数を求めるかが不明である。

また、評価関数は、目的のインク量と何との離れ程度によるものかが分からない。

さらに、請求項9に係る発明の評価関数が、平滑化の程度とどの様に関連する

整理番号: EP0124 発送番号: 356784 発送日: 平成17年10月 3日 4

かが分からない。

(8) 上記(7)で指摘した点については、請求項10に係る発明の記載についても同様である。

(9) 請求項11の記載からは、色補正テーブル、色変換及び色補正テーブルを用いた画像処理等の本願発明の各構成と、インク量との関係が不明確であり、インク量制限がどの様にして決められるかも不明確である。

また、インク量制限をこえる程度から、どの様にして評価関数を求めるかが不明である。

さらに、請求項11に係る発明の評価関数が、平滑化の程度とどの様に関連するかが分からない。

(10) 請求項12に記載の負のインク量は、どの様にして実施できるかが分からない。

また、インク量が負になったことから、どの様にして評価関数を求めるかが不明である。

さらに、請求項12に係る発明の評価関数が、平滑化の程度とどの様に関連するかが分からない。

(11) 請求項13の記載からは、インクの発生が本願発明の各構成とどの様に関連するかが不明確である。

また、インクの発生とはどのような事項であるかを特定することができない。

さらに、インクの発生からどの様にして評価関数を求めるかが不明であり、請求項13に係る発明の評価関数が、平滑化の程度とどの様に関連するかが分からない。

(12) 前記(1)で指摘した点については、請求項14-16に係る発明の記載についても同様である。

#### 引用文献等一覧

1. 特開平6-253139号公報 ✓
2. 特表平9-509295号公報 ✓
3. 特開平6-225131号公報 ✓
4. 特開平1-165441号公報 ✓

先行技術文献調査結果の記録

BEST AVAILABLE COPY

整理番号:EP0124

発送番号:356784

発送日:平成17年10月 3日

5/E

・調査した分野    H04N 1/40-1/409  
                      H04N 1/46-1/64

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

BEST AVAILABLE COPY